

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 4年 4月 30日

事業所名 キッズ・レインボー

保護者等数(児童数) 28人

回収数 20人

割合 71%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	80%	15%	5%	0%	・国や府市の補助で建て替えられるなら(広い場所が)望ましいが、市の施設等の利用はできないだろうか。	・市民プラザの多目的室と、小学校の体育館を月2回利用させてもらい、広いスペースで身体活動をしたり、近くの公園等の屋外施設の活用で身体活動の機会の充実を図っています。改築等は今後の課題です。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	95%	5%	0%	0%	・専門性のある職員が適切に配置されていると思う。	・支援の専門性を高めるため、研修の機会を積極的に利用すると共に、より適正な配置数の確保に努めています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	50%	25%	5%	20%	・子どもたちは適応できているので、現状で大丈夫だと思う。	・今後ともバリアフリー化やユニバーサルデザインの観点から、改善・改良の努力を続けます。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	95%	0%	0%	5%	・心理師や発達検査の結果を考慮して本人の特性に沿い計画を作成しているとおもう。	・放課後等デイサービスのガイドラインに則り、必ず全員の個別支援計画の作成とモニタリングを実施している。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	90%	10%	0%	0%	・コロナ禍の中、よく工夫されていると思う。	・すべての活動プログラムを月毎に記録し、偏りや固定化がないかチェックし、新たな種目を加えるなど工夫している。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	45%	10%	20%	25%	・コロナ禍でもあり、現状ではない方が良い。	・コロナ感染禍の現状に鑑み、機会を設けていない。
	7* 療育内容は新型コロナに対応した適切なものであったと思うか。	80%	10%	0%	10%	・感染症対策に配慮しながら、取り組んでもらっている。	・感染者を出さないこと、特にクラスターを発生させないことに最大限の注意を払って運営している。
	8* コロナ対策全般についてのご意見。(自由記述)	45%	0%	0%	0%	・消毒など、気をつけてもらっているのがありがたい。 ・休校や学級閉鎖にも対応していただきよかったが、どうしても利用できなくなる日もあった。 ・支援員から感染者が出ていないので安心して利用できる。・送迎車内が密になるので少し心配です。 ・交流を制限される中、可能な限り開所していただきありがたいです。 ・スケートや体育館などが貸し切りになると良い。	・コロナ感染は長期化することを視野に入れ、基本的な対策を維持しつつ、新たな対策にも対応できるよう、今後とも適切に対応していきます。・ラクトドームは、貸し切りで利用できています。
保護者 への 説明等	9 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	95%	0%	0%	0%	・丁寧に説明してもらえました。	・利用開始時に丁寧に説明すると共に、状況の変化等に応じて重ねて説明している。電話やLINEでの問い合わせにも丁寧に説明しています。
	10 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%	0%	0%	0%	・サービス提供記録票などを通じて情報共有できている。	・コロナ感染下でもあり、直接お会いしてお話しする機会が少ないので、電話やメール、LINEなどいろいろな手段を通じてコミュニケーションを深める努力をしています。
	11 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%	0%	0%	0%	・コロナ感染症以後書面が多かったが、今回は面談が実施され良かった。 ・常日頃、助言等をいただき感謝しています。	・管理者、担当支援員、公認心理師などがそれぞれの立場から、課題とその解決に向けた支援の手立てについて相談・助言を積極的に行っている。
	12 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	55%	20%	0%	20%	・コロナのため保護者会の開催ができないのは理解できる。(複数意見) ・コロナ禍の中、最低限になっている。	・現状では全面的に保護者会等、人が集まる機会は制限せざるを得ないので、今しばらく自重し、代替的な方法で充実を図るよう努めます。
	13 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	70%	5%	0%	20%	・苦情がないのでわかりません。	・いろいろな機会を通じて、できる限り自由に意見や希望を出しやすい雰囲気づくりに配慮します。送迎時の保護者との接点などの機会を活用して苦情等を把握し、迅速に解決するようにします。
14 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%	0%	0%	0%	・何かあれば情報伝達してもらっている。	・ご家庭と学校等との、直接・間接の情報共有に最大限、努めている。	

	15	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	90%	0%	0%	10%	・月予定を毎月配布されるのと、門真市手をつなぐ育成会の情報誌を2ヶ月毎に配布されます。ホームページにも掲載されています。	・ホームページ、会報、毎月のお便りなどを通じて、行事等とその反省点についてご家庭に連絡し、ご家庭からのご意見についても収集するよう努めている。・ご本人へは日々の活動や行事が楽しかったかなどを、質問するなどして、希望や課題の把握に努めている。
	16	個人情報に十分注意しているか	90%	0%	0%	10%	・十分気をつけてまらえていると思う。	・大阪府個人情報保護条例の趣旨に則って十分注意している。
非常時等の対応	17	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	60%	15%	0%	25%	・定期的に緊急時の対応を教えて欲しい。保護者も忘れるので。 ・いつ説明があったのか忘れました。 ・プリントで良いので、保護者向けに非常時対応のプリントを配布してほしい。	・保護者も事業所も忘れることがないよう、定期的に確認・周知を図るようにします。今後はチェックシートを作成して確認に努めます。
	18	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	55%	0%	0%	45%	・子どもたちの訓練は、実施しているようだが、保護者を交えての訓練は無かったと思う。	・定期的に訓練に努め、市が指定する避難場所への移動の訓練も実施しています。
満足度	19	子どもは通所を楽しみにしているか	80%	15%	0%	5%	・楽しいと言っています。 ・子どもは日曜日でも通所でできればと言っています。	・楽しく活動すると共に、ご本人の発達課題が身につくよう支援に努めます。
	20	事業所の支援に満足しているか	90%	10%	0%	0%	・コロナが落ち着いて、もっと外出の機会が増えるといいと思う。	・全員での外出の機会は、状況を見て検討を進めます。小グループで近隣の公園などに短時間でも出かける機会を増やすように努めています。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。